

地域限定

[クロチアニジン・イソチアニル粒剤]

農林水産省登録 第22699号

性状: 類白色細粒

毒性: 普通物

危険物: —

有効年限: 7年

包装: 1kg×12袋、3kg×6袋、12kg×1袋

スタウト® ダントツ® 箱粒剤 08

有効成分: クロチアニジン 0.80% イソチアニル 2.0%

殺虫剤分類	4A
殺菌剤分類	P3



「住友化学農業ガイド」の見方: i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。本剤の最新情報: こちらのQRコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報がご覧になれます。

[適用と使用方法]

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	1 kg/10 a	移植時	本剤: 1回 クロチアニジン: 4回 (#5) イソチアニル: 3回 (#6)	側条施用
湛水直播 水稻			は種時	本剤: 1回 クロチアニジン: 4回 (#3) イソチアニル: 3回 (#4)	は種同時施薬 機を用いて土 中施用する
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 内穎褐変病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50g	は種前	本剤: 1回 クロチアニジン: 4回 (#1) イソチアニル: 3回 (#2)	育苗箱の床土 又は覆土に均 一に混和する
		高密度に は種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30 ×60×3cm、使用土 壌約5ℓ)1箱当り 50~100g)			
		育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50g	は種時 (覆土前) ~移植当日		育苗箱の上か ら均一に散布 する
		高密度に は種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30 ×60×3cm、使用土 壌約5ℓ)1箱当り 50~100g)			
イネクロカメムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50g	移植当日			
	高密度に は種する場合は1 kg/10 a (育苗箱(30 ×60×3cm、使用土 壌約5ℓ)1箱当り 50~100g)				

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲 (箱育苗)	苗立枯細菌病 苗腐敗症 (もみ枯細菌病菌)	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	本 剤：1回 クロフニジン：4回 (#1) イソチアニル：3回 (#2)	育苗箱の床土 又は覆土に均 一に混和する
		高密度に は種する場合は1 kg/10a(育苗箱(30 ×60×3cm、使用土 壌約5ℓ)1箱当り 50~100g)			
		育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時 (覆土前)		育苗箱の上か ら均一に散布 する
		高密度に は種する場合は1 kg/10a(育苗箱(30 ×60×3cm、使用土 壌約5ℓ)1箱当り 50~100g)			

#1：移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回

#2：移植時までの処理は1回、本田では2回

#3：は種時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回

#4：は種時までの処理は1回、本田では2回

#5：直播ではは種時又は移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回

#6：直播ではは種時又は移植時までの処理は1回、本田では2回



効果・薬害等の注意

- 床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用する。また、処理した床土または覆土を放置しない。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植する。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整する。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意する。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しない。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布する。
また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさける。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- スタウトダントツ箱粒剤 08 は、いもち病に高い効果のある新規有効成分スタウト（一般名イソチアニル）と水稲初期害虫等の防除に定評のあるダントツ（一般名クロチアニジン）との混合箱粒剤です。
- いもち病と水稲初期害虫に優れた効果
いもち病と水稲初期害虫（イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ）に優れた効果を示します。
- 幅広い使用時期
は種時から移植時まで使用可能です。
- イネに対する高い安全性
イネに対して安全性が高いことが確認されています。